Reading The Portrait
（リーディング　肖像画）

P.131

かつて、ある父と息子がいた。

親子はとても仲がよく、コレクションに貴重な芸術作品を加えるのを楽しんだ。

ピカソ、ヴァン、ゴッホ、モネによる大変貴重な作品や、他の多くの作品が彼らの家の壁を飾った。

父は、一人息子が経験豊かな美術品収集家になるのを満足げに見守った。

世界中の美術品収集家を相手にしているときの息子の目利きと商売気質を見て、父は誇らしく思いほほ笑んだ。（彼らが世界中の美術品コレクターと話をするとき、息子の訓練された目と鋭いビジネス精神は、父親を誇らしい顔にさせた。）

【POINT】

The son's trained eye and sharp business mind | made | his father | smile ～

S | V | O | C

『make + 目的語 + 動詞の原形』で「目的語に～させる」という構文。
この場合の make を使役動詞という。第 5 文型。

冬が近づいていた。

国は戦争中で、息子は国を守るため出て行った。

たった数週間のうちに、父は電報を受け取った。

彼の最愛の息子が、戦争のさなか行方不明になってしまったのだった。

もう二度と息子には会えないかもしれないと思いながら、父はさらなる知らせを待った。

数日のうちに彼の不安は現実のものとなった。

息子は仲間の兵士を医師のもとへ連れて行く途中で亡くなっていたのだ。

ショックを受け、孤独になり、父は痛みと苦しみを感じながらやがてやってくるクリスマスを迎えた。

E-NAVIGATION SAMPLE